

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	理事長 松宮 幹雄	法人・事業所の特徴	県民せいきょうの事業は組合員・利用者のための事業です。私たちは生協人として利用者の満足向上のために常に利用者の立場で考え、誠実に行動します。事業所では、生協福祉の理念「あなたらしきいつまでも」を実現するために、10の基本ケアを実践・推進し、利用者ができる限り自分の力を発揮しながら自分らしく生活できるように応援していきます。そのために、本人と家族の思いに沿えるよう交流を深め、信頼関係の構築に努めます。また、地域社会からも信頼される事業所を目指し、地域とのつながりを大切にします。
事業所名	小規模多機能ホーム 敦賀きらめきハウス	管理者	服部 眞二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	人	人	3人		10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフには自己評価の意味の説明を事前に実施する。 ・前年度の計画(アセスメントとその理解及び職員の共通認識を第一に考え、本人、家族の思いを受け止められるように努め、信頼関係を築いていくようにする)を継続(再確認)する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化による電子介護記録のソフトが変更になり、操作に慣れるまで業務に負担となったが、申し送り方法を新たに考えて情報の共有を図った。 ・コロナ感染予防等の影響もあり人員に余裕がなく、昨年度同様ゆとりある関りがなかなかもてなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなできていると思うけれども、厳しく自己評価されていると思う。 ・利用者さんの裏に秘められた気持ちをチェック項目に入れて、その点について改善計画を立て、反省と共に前向きに考えていることに頭が下がる。 ・利用者、家族、地域の方からの意見及び要望の把握に努められ運営への反映を図っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の思いを共有し信頼関係を築いた上で、より良い提案が行なえるようにケースミーティングを適宜開催する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いているのであれば、令和元年度のように家族会などの催しを開催し、ご家族や地域の方にも事業所に入りやすい機会を設けたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様に新型コロナウイルス感染症対策のため、ご家族や地域の方の出入り、ボランティアさんの受け入れも中止し、最低限必要な面談を行なう際は、面談者の体調確認、手指消毒等徹底し、利用者様のマスク着用、換気等継続して感染対策を行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(コロナ禍で)行っていないので分からない。 ・今年度も新型コロナウイルス対策のためボランティア(散髪を除く)の受け入れを中止し、ご家族や第3者が事業所に入ることも制限した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を継続し、状況をみながら地域との関りを考える。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束するまでは感染予防に徹し、その後も予防を継続しながらも参加できることや事業所で開催できることを考えて地域にお知らせしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も運営推進会議はすべて書面で行なった。 ・新型コロナウイルス感染症は収束せず、感染予防を徹底して継続する必要がある、秋の文化祭参加以外では地域との関わりはあまりもてない状況であった。 ・毎年行なっている、栗野南小学校1年生への交通安全カードの贈呈は行なった。 ・敦賀きらめきとして「介護やすらぎカフェ」、「介護やすらぎ訪問」を継続して受託し実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この書類を届けに行った時も、2人の職員があいさつして来た。 ・事業所を知っている人は知っているが、関りがないと知らない。 ・(新型コロナウイルス感染症の)感染が減り、老人会でも集会を行なったが、また落ち着かない様子になって来てしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束するまでは感染予防に徹し、その後も予防を継続しながらも参加できることや事業所で開催できることを考えて地域にお知らせしていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めて、利用者が、その人の住んでいる地域での行事が開催された時には、参加できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も感染症予防対策のため、地域での行事も開催されることは少なく、参加することもなかった。 ・但し、前年度同様、気分転換を図るためにドライブに行くことは天候が良ければ頻回に行ない、利用者の笑顔が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「敦賀きらめき通信」にて利用者みなさんの表情等がよく写されており。活動的な様子が十分把握できた。 ・自分の家の回りの人は誰も知らないし付き合いもない。(同居している) 娘たちも付き合いは無いみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めて、利用者が、その人の住んでいる地域での行事が開催された時には、参加できるよう支援する(継続)。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の計画(運営推進会議にて、地域での高齢者の困りごとを把握し事業所内でも情報を共有しておく。相談が必要な事例は会議にて対応を検討する。)を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も書面にての開催となった。そのため地域での高齢者の困りごとは把握できなかった。 ・民生委員さんとの必要時の連携はとることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間運営推進会議は開催されていないので、よく分からない。 ・コロナ禍の中ではなかなか難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の計画(運営推進会議にて、地域での高齢者の困りごとを把握し事業所内でも情報を共有しておく。相談が必要な事例は会議にて対応を検討する。)を継続する。 ・リモート開催を検討する。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練に関して、火災に加え、水害の訓練も実施していく。また、不審者対策の訓練も実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は事業所内だけで行なったが、不審者対策等通常の訓練と違った形での訓練を行なう余裕がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での防災訓練は行なわれておらず、施設での状況も分からない。 ・当日訓練に参加した。災害時には頼りになると思う(利用者)。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、地域の方を交えた訓練はしばらく行なえないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の防災訓練以外の不審者対策等も計画し実施する。